



学び舎に魂合わせ

令和8年5月11日（月）
第2号（1学期）
伊那市立東部中学校
作成 松坂 真吾

新しい教室からの避難訓練、 600人が避難するのに8分！



南校舎からの出火を想定した校庭への避難訓練でした。緊張感のある良い訓練でした。なぜ、その緊張感が必要なのでしょうか。それは、最も大事な「命を守る」訓練だからです。その為、先生方にも人員報告を含め、「全力」をお願いしています。

下校は、災害時を想定した集団下校が実施されました。災害等の規模によっては、道路等が寸断され、自力で帰宅しなければならないケースもあります。集団下校時に帰宅に要する時間や経路をお家の人と共有しておくことも大切です。

生徒の感想（学年通信より抜粋）

- 訓練だと分かっても少し緊張しました。だからこそ、本当の地震や火事の際はもっと冷静さが重要だと感じました。先生の話聞いて、自分の命を守る行動を自分で考えることが重要だと思いました。
- 避難訓練を通して、防災は一人だけでなく、みんなで行うものだと分かりました。友達が困っていたら助け合うことも大切だと思いました。今日学んだことを家族にも伝えたいです。
- 普段は意識していなかった階段や出口の場所を知ることができました。私語をせず、静かに移動することで早く安全に避難できました。全校で協力することの大切さを改めて感じた訓練でした。

本年度第1回参観日、多くの 皆さんにご来校頂きました！

5月1日(金)に行われた第1回参観日ありがとうございました。

スタートして1か月がたった1年生。真新しかった制服にも表情にも「こなれ感」が感じられ、緊張感の中にも、たくましさや成長を感じることができました。

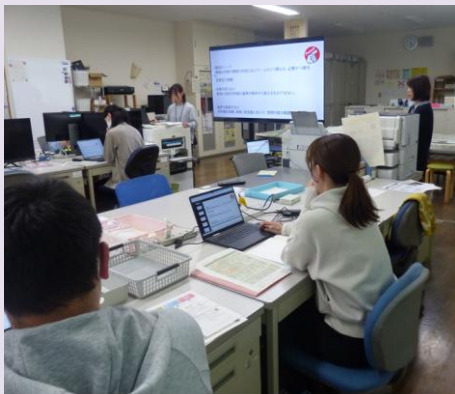
2年生の校舎には、登山グッズが展示され、興味深く登山用品について情報交換されていました。

3年生の教室廊下には、最新の進路情報が並び、熱心に読まれている保護者の方が大勢いらっしゃいました。

今回は、6月の部活動参観、2学期には文化祭、7月、10月、2月にも参観日が予定されています。多くの保護者の皆様のお越しを心よりお待ちしております。



先生方も勉強し、今年度を充実 したいと考えています



昨今、学び続ける教師は、子どもたちの成長を支えるうえで欠かせない存在であるといわれます。社会や価値観、学び方は変化しており、教師自身が学びを止めてしまうと、子どもたちの実態や時代に合った指導ができなくなる危険があります。新しい知識や指導法を学ぶ姿は、子どもたちにとっても「学び続けることの大切さ」を示す良い手本であって欲しいですし、学びによって視野が広がることで、生徒一人ひとりを多面的に理解し、よりよい支援や声かけが可能になることを目指しています。失敗や課題に向き合い、改善し続ける教師の姿勢こそが、生徒と信頼関係を築き、学校全体の学びの質を高める力になると考えています。

5月～6月の主な予定

<5月>

20日(水) 学校休業日

25日(月)・26日(火)

高遠宿泊学習(1年) <27日(水)1年計画休業>

職場体験学習(2年)

進路講話(3年)

29日(金)運動系壮行会

<6月>

1日(月)～5日(金) ※但し3日(水)は部活なし

部活動参観<15:30～17:30>

1日(月)～読書週間

6日(土)～南信中学総体(陸上・球技・武道など)

22日(月)計画休業

1710パート3 その式

1年生の学年集会入場の1コマ、担任の先生は不在。かばんを持って並ぶの? おいて並ぶの? わからず、不安そうな顔つき。

学級長が指示をします、3分後には体育館の壁にかばんが整然と並べられます。

- ① 今おかれている状況を理解すること
- ② 何をすべきか考えること
- ③ 考えたことを勇気をもって行動すること

とてもステキな姿に出会いました!!